

予算決算特別委員会（傍聴者1人）

主な質疑

◆平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）

問 観光推進事業（虻田福寿草の里）について

内容説明を。

※

答 長寿社会づくりソフト事業費交付金により、地域が主体となつて行なうイベントに対して、100万円を上限に交付されるもので、

問 福寿草の里の駐車場はどうなっているか。

答 平成28年秋に除外申請したが、農振除外が済んでいない。

問 企画費の役務費21万6000円の補正は、東第2団地の太陽光発電関連ということだ

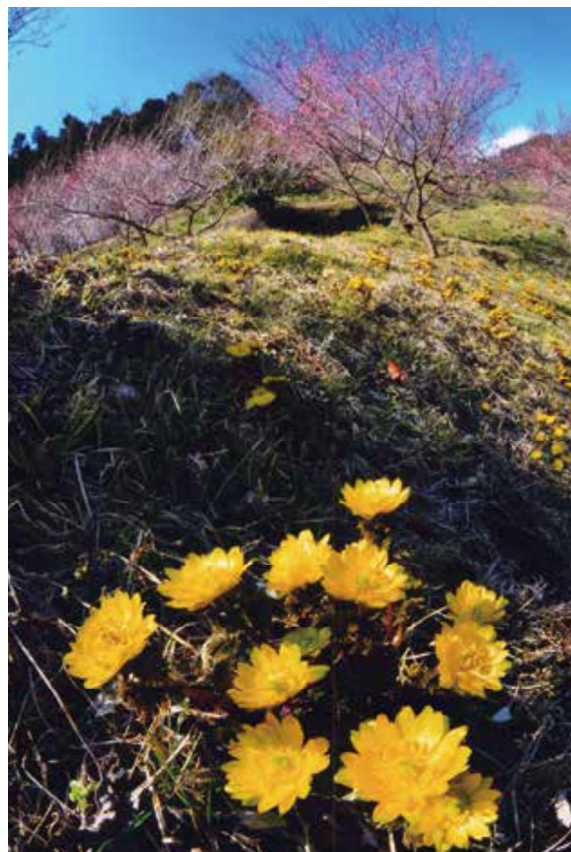
が、具体的に太陽光発電を行う場合、町がやるのか、業者に任せるのか、構想について伺いたい。

答 ご指摘のとおり公営企業、特別会計、一般会計で行う場合など様々な運営方法がある。土地を貸すだけのものから、自主事業として行うもの、一括で購入する場合、長期間のリース契約で行う場

合など様々な運営方法があるので、比較をしながら、一番良い方法を検討している段階である。今回は調査費用だけを予算計上させていただいた。

問 地方創生拠点整備事業において、旧黒澤商店関連エリアの事業を行うに当たってはそれなりのプランや計画があると思うが、どう使つてどう活性化につながつていくのか。経済効果についても、費用対効果がどの程度なのかお聞きしたい。

答 活用はチャレンジショップ、起業に結びつくような、下仁田町で起業する若者を支援する建物とすることがメインである。一部は地域の住民の方にも利用していただけるような機会を設けるような形をとりたいと思うが、あくまでも起業を目指す方を支援する建物、チャレンジショップとして整備していきたいと考えている。経



虻田福寿草の里

答 活用はチャレンジ

問 この場所の利用方法は今後の検討課題だと思ふが、お祭り広場等でイベントする場合に拠点整備後の部分を起業する人が使つていて、町のイベント等で使えない場合も考えられる。そういった場合どうするのか。

答 運用方法について



予算決算特別委員会の様子

も、検討を進めていくが、現在利用している方に不便のないように制度設計を進めていきたい。駐車場の部分はこのまま駐車場の利用となるのではないかと考えている。砂場になつていない所に、パラソルを張つてお店を出すとか、イベントをするとか期間利用も想定している。